

例会報告

第2560回例会報告議事録

日時 31年2月19日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト：(株)フロリスト イリエ 代表取締役
入江淳子様

ビジター：なし・S.A.A.:倉持会員

会長挨拶

荒井会長



先週、会長幹事会に行ってきましたのでご報告いたします。
当クラブへのガバナー補佐訪問は3月5日(火)と6月18日(火)に決まりました。
地区表彰については、2017年7月1日より2018年12月31日までの対象で、奉仕活動優秀、ロータリアン個人とクラブ、個人には会員増強に尽力したロータリアンも含まれます。表彰は4月21日(日)の諸岡年度による地区研修協議会で予定されています。

他クラブの活動状況として柏南クラブは12月8日に留学生と日本文化を通しての交流会を開催、柏西クラブは大型パネルシアターのイベントを4月開催予定でしたが中止になりました。

2月27日(水)の第11グループのIMですが、一般市民参加申し込みが現在9名だそうです。

4月17日(水)の11グループの合同例会は親睦ゴルフが取手国際ゴルフ倶楽部にて、親睦ボーリングが柏駅前のヤングボールに決まりました。ゴルフが61名、ボーリングが31名参加予定です。

親睦実行委員会に各クラブより2名ずつ出すことになり、ボーリングの実行委員を依田幹事、ゴルフの実行委員を石原会員にお願い致します。

報告は以上です。

親睦委員会報告

福武委員長



本日、特に報告することはございません。

出席報告

寺井会員(代理)



22名(出席免除者含む)出席(全員で29名) 出席率75.86%

業務による欠席が7名。

幹事報告

依田幹事



- 来週2月27日(水) 柏クレストホテルにてIM(インターシティミーティング)

12時~13時 昼食

13時点鐘

車で来られる方はクレストホテルの下の駐車場は使用出来ないため、高島屋の第2駐車場をご利用ください。会場で印鑑を押します。

15時半点鐘で終了予定。その後、会長幹事等の懇親会開催。

- 4月17日(水)の合同例会の親睦ゴルフは取手国際で食事込みで16,000円です。

ゴルフをされない方はボーリングにいらしてください。3時から柏のドン・キホーテのビルの5階にあるヤングボールにて行ないます。30~40名参加予定です。



〈プロフィール〉

◇草月流師範

◇AIFD (American Institute of Floral Design) 公認フローラルデザイナー

◇全米ブライダルコンサルタント協会認定

プロフェッショナルフラワーデザイナー／認定フラワー講師

◇AEAJ認定アロマセラピーアドバイザー

◇花育講師

本日はお招きいただきましてありがとうございます。

私が活動しております花育について本日はお話しさせていただきたいと思います。

我が国における現代の、特に都市の生活は室内等の閉鎖的な空間で過ごすことが大半を占めていて、花や緑に触れる機会が極端に少なくなっています。

花や緑には心身を癒しリフレッシュさせる効果があります。様々な知識や経験を最も盛んに吸収する幼児や児童が花や緑に親しみ育てるということは情操面での向上や、優しさや美しさを育むのに効果的です。加えて、地域活動においても世代間等の交流や地域のつながりを深めることも期待されます。

花や緑のある快適な生活空間を創造しようとする、健全かつ多様で豊かな心を培う活動として花育は考えられています。

重要なテーマとして、自然と人間の共生は現代人の大きな課題であり、自然破壊を回避し、健全な状態を保全することということも花育の基本理念に含まれています。

内容は大きく二つに分けることができます。

花や緑を通じて、自然や人との関わり方の入口に案内するという目的を持つ、幼児や小学校低学年のグループで、もう1つは園芸などを楽しみ、調べ学習の動機付けとなったり生物愛護や生命尊重の態度を育てる等の小学校の中高学年のグループです。

花育の教育上の効果は、感謝する気持ち、やさしい気持ち、探究心、想像力を育む、人とのつながりを作り広げる等、波及効果への期待が盛り込まれています。

花育は全国で盛んに行なわれています。

その方法は、たとえば花壇を作ったり、園芸、フラワーアレンジメント、牛乳パックやペットボトルを利用することもあります。

26年に花き振興法というものが制定され、国及び地方公共団体の取り組みとして、花が人に及ぼす効用を認め、その環境の促進につとめることが謳われ、農林水産省から国産花きイノベーション事業として予算が取られています。

足立区に第一花きという花の卸売り市場があります。柏の若柴のそばに支店があり、その社長が2015年に立ち上げたのが、プリントに書かれている「一花一葉推進プロジェクト」です。

「一花一葉」専用の花きが開発されました。その花育花瓶を使って、45分のプログラムを作り、小学校で授業を行っています。

東京では保育園が多いのですが、千葉県では主に小学校で行なっています。

「一花一葉」というのは生け花の表現方法の一つで、最小限の花材、一枚の葉、一輪の花で表現していくことです。

決まった形というのはありませんので、それぞれの個性を生かして創作活動ができ、自分の作品を作り上げる自己肯定感、またお互いの個性を認め合うことを学ぶことができます。

一花一葉の創作活動の中では失敗と言う概念はありません。

一輪の花と向き合うことで、花の強さや美しさ、また枯れてしまうことで命のはかなさ、繊細さを感じ、優しくなれるようになります。

作品の出来上がりより、作っていく課程で生まれる心の変化を感じる情操教育に重きを置いています。

生け花は室町時代に公家やお坊さん等の男性によって始まりました。そうやって日本人は昔から花と深く関わってきた、という文化的な側面も伝えています。

一花一葉の授業で使う「hanaikuかびん」は、ご家族の方にも理解して

(次ページへ続く)



いただけるようにプリントも一緒に家に持って帰ってもらっています。一生、マイかびんとして使ってもらえたらと思っています。

一花一葉では、一花はガーベラ、一葉はハランという花材を使います。それらは幼児でも扱いやすく、一年中、花屋さんで手に入る花材です。

日本は四季の変化もあり、季節の変化を日本人は感じ、自然を楽しんでいると思います。生け花や盆栽は世界共通語になっていて、そんな日本の伝統文化に触れることも大切だと思っています。

ここで、どんなふうに授業を進めているのか、実際にお花を生けながら説明させていただきたいと思います。

45分の授業の中で、お花がどこでどのように作られているのかもお話しします。花の流通量が多いのは愛知県ですが、二番目に多いのは千葉県です。

花の観察もします。よく見てみる、そっと触ってみる、香りをかいでみる、そして家に持ち帰った後、枯れていく花を観察してもらって、五感で花を感じてもらいます。

今まで1万4千人くらいの子ども達と関わってきましたが、全部違う作品ができあがります。そこがよい所です。人と違っていいのです。

私たち人が正面や横から見た時に変わるように、お花も一周回して、どこがきれいかなという所を探して作っていきます。植物と会話をすることを大事にしてもらうようにしています。

作り終わったら、発表してもらったり、教室でみんなの作品を見合ったりしてもらっています。

花瓶も一緒に家に持って帰ってもらって、水が減っていくのを見て、命があってお花が水を吸っている、汚れていく水をきれいな水に取り替える、そしていつかは枯れていく、ということを学ぶことができます。

昨年は東京都の花き振興協議会の主催で「子ども達の心豊かな暮らしのために花育のすすめ」と題した花育シンポジウムというものを足立区の東京芸術センターにて開催しました。私も講師のパネラーとして登壇させていただき、保育、教育現場での実例報告や、パネルディスカッション等をして参りました。

今後、実施数を維持拡大していくためには人材と財源がとても大事な課題になっています。なるべく千葉県も予算をこれからも取ってほしいと思います。

先週は柏市場の主催で高柳西小学校の3年生の花育の授業をして参りました。

特別支援学級でも授業をさせていただいたのですが、普段は席についてられないお子さんも集中してお花を生けてくれました。とても繊細で素晴らしい作品が出来上がっています。花き園芸新聞に一面でも取り上げてもらっています。

授業の様子をご覧になっていただけたらと思ひまして、プロジェクターをわがままを言ってお借りました。

私のフェイスブックでも時々報告させていただいておりますので、よかったらご覧になってみてください。

脳科学者の茂木健一郎さんが、人間形成の基礎の時間に花育を通じてやさしさや美しさを感じる

心豊かな感性を育むのは大切な経験だと言ってくれています。

生け花は脳全体の運動になっていて、長寿やアンチエイジングにもつながります。

生け花は決断の連続であり、決断するということは脳の中の一番高度な働きなのだそうです。

花を生けることで心を整えることもできます。

ぜひ皆さまも機会がございましたら、生け花の体験をしていただけたら幸いです。

銀座のポーラミュージアムで日本のビジネスリーダー達の生け花展が開催されています。

今日のお話しが、花と緑のある豊かな暮らしを皆さんが感じていただけるきっかけになればと思います。

本日はつたない卓話になりましたが、どうもありがとうございました。



ありがとうございました。

閉会の言葉

荒井会長

本日は素晴らしい卓話をありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
荒井会長	入江さん 卓話ありがとうございました。	2,000円
小池会員	入江さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
佐藤雅教会員	久しぶりのお湿りです。	1,000円
瀧日会員	一花一葉 良い話をありがとうございました。	1,000円
寺井会員	良いお話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	入江さん ありがとうございました。	1,000円
村越会員	入江様 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	入江様 ありがとうございました。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
当日計		10,000円
今期累計		211,650円

今週の表紙「旧村川別荘」千葉県我孫子市寿2丁目27番9号

手賀沼を愛した帝大教授、村川堅固が大正10年に設けた別荘です。子之神大黒天のすぐ隣の、沼を一望できる丘の中腹にあります。かつて我孫子には数多くの別荘がありましたが、当時のまま残っているのはここだけです。我孫子市の文化財に指定されており、市民ボランティアによるガイドも行われています。毎年9月には恒例の“竹灯籠の夕べ”が開催され、多くの来場者で賑わいます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。